速報版

発行所　国鉄労組 盛岡地方本部
発行者　佐々木 政志
編集者　及川 孝

2023年
5月22日

第92回定期全国大会
日　時　2023年7月27日(木)～28日(金)

第37回東日本本部定期大会
日　時　2023年8月19日(土)

4・8／第1回「支部・地域分会代表者会議」

魅力ある会社＝組合加入し要求・改善へ
大胆に国労加入を訴えよう

地方本部は4月8日、第1回「支部・地域分会代表者会議」を盛岡市・国労会館にて開催した。会議には、佐々木政志委員長・及川孝副委員長・菊池要悦書記長・小笠原勝豊執行委員及び各機関の代表者ら20人が参加した。

地方本部はこの間、1月に開催した両支部の「分会代表者会議」から各地区での「第2回地区集会」を開催し、当面する闘いの展開や諸課題について共有を図ってきた。

会議は、23春闘の取り組みと振り返り、喫緊の課題である「組織強化・拡大」の取り組み、平和と民主主義を守る闘い、今後の「組織の在り方」など、国労を取り巻く諸課題について協議を重ねる重要な会議となった。国労運動を次世代に引き継ぐため、スケジュールを意識したスピード感を持った取り組みが求められている。

23春闘・組織強化・拡大など 20人が参加し意見交換

会議は及川副委員長が開会挨拶し、佐々木委員長が「23春闘総括をはじめ課題が山積しているが、私たちの要求実現や組織拡大の実現を図るため積極的な意見交換をお願いしたい」と座長就任の挨拶を行った。続いて菊池書記長が①23春闘総括について②組織強化・拡大について③今後の「組織の在り方」について④全国大会・東日本本部大会代議員議員選挙について⑤平和と民主主義を守る闘いについて――などを提起し、意見交換に入った。

出席者からは、「23春闘・年末手当の動向など若手社員から問い合わせを受けている。住宅ローンなど抱える中で、テレビ・新聞等の情報を聞き入れている」（青森）「手当や賃金は欲しいが春闘には興味がなく、会社の提示されたものに従うという雰囲気」（一関）「春闘要求実現には地方から声を上げることが大事。エルダー社員でも寒冷地手当を要求していきたい」（青森）などの発言があり、組織拡大については、「社友会連絡協議会の動きの注視が必要。若手社員に会社の不満を相談された。改善に向け取り組んでいくことが大事」（一関）「『融合と連携』で確実に仕事が増え業務が回らない。若手社員の離職問題も深刻で、労働組合としても歯止めを掛けたい」（青森）などの発言が出された。

発言を受け菊池書記長が、「エルダー社員のベアは労働組合として継続して求めてきたもの。本社団交の中で寒冷地手当はエルダー賃金に含まれているとのことであるが、引き続き求めていきたい。働く環境を良くするためには周りの環境を良くする必要がある。それには労働組合に加入し団結する必要があることを労組未加入者へ訴えていこう」と答弁した。

私たちを取り巻く環境が厳しい中、第20回統一自治体選挙が施行される。推薦する予定立候補者を議会に送り出していくため、地域・職場からの取り組みが求められている。選挙に行ったことがない若手社員も多く、声を掛ける中で投票を促していくことも労働組合として求められている。魅力ある会社・職場にするためには一人で悩むのではなく、組織された労働組合に加入し会社に要求し改善していくことが必要である。そのためには、一人ひとりの高い問題意識と職場でのもうひと踏ん張りが必要であり、大胆に国労加入を訴えていかなければならない。

＝会議には20人が参加し意見を交わした＝

5・1各地区でメーデー開催 4年ぶりに交流会も

第94回岩手県中央メーデー集会が5月1日、盛岡城跡公園広場にて開催され盛岡地方本部・盛岡地域分会・盛岡からの通勤者ら15人が参加した。

集会では佐々木秀市実行委員長が「賃上げや働き方改革の推進を広め、団結を強めよう」と挨拶し、達増拓也岩手県知事・谷藤裕明盛岡市長・金田一文紀労働者福祉協議会副会長が来賓挨拶した。お楽しみ抽選会やメーデー宣言を採択し、「ガンバロー三唱」して閉会。3グループに分かれて盛岡市内をデモ行進した。また、同広場にて青空の下で4年ぶりに交流会が開催され団結を深め合った。

青森支部では第94回メーデーを例年通り各地区での国労独自の集会として取り組み、青森地域分会は青森支部事務所で、八戸地域分会は分会事務所でそれぞれ開催された。鉄道退職者の会を含め、青森地区では19人、八戸地区では23人が参加した。

青森地域分会では、小原典昭分会長が「春闘を終え若手社員からも不満の声が上がっている。このような意見を吸い上げ今後の交渉に活かして取り組む姿を見せる中で組合の必要性を訴え組織拡大につなげていこう」と挨拶し、各班の代表がそれぞれ決意表明を行った。

八戸地域分会は鉄道退職者の会新規加入歓迎会と併せて開催。集会は北上常義書記長の開会挨拶で始まり、奥山力分会長が主催者を代表して挨拶、鉄道退職者の会八戸地区連合会・若松正純会長に引き続き、来賓の山名文世八戸市議会議員が挨拶を行った。阿部一久青森支部委員長の挨拶後、貨物班・野田茂志氏、運輸班・城ノ脇雅文氏、工務班・松橋隆氏が各班を代表して決意表明を行った。JR福知山脱線事故から18年にあたり「4・25安全行動日」を沖田司男書記次長が読み上げ、奥山分会長による「団結ガンバロー三唱」にて閉会した。

集会終了後、青森、八戸共事務所にて交流会が行われた。また、一関、北上地区でもメーデー集会が開催され、多くの組合員が参加した。

＝八戸メーデーで挨拶する奥山力分会長＝

＝岩手県中央メーデーには15人の仲間が参加した＝